

令和 7年 3月 31 日

大東市長 様

令和 6 年度提案公募型委託事業に関する報告書

団体名：PCP センター

事業名： 「在宅で看取りってどうなん？」

～「明日香に生きる」映画上映会＋終末期医療トークセッション～

1. 実施内容
2. 事業の報告（イベント等の写真を付けてください）

1. 実施内容

[illegible]

2. 事業の報告

計画した事業

会場：大東市立市民会館キラリエホール①②

(A)「明日香に生きる」映画上映・監督/出演者トークショー

10:00-12:00 映画上映

12:00-12:30 トークショー

映画監督：溝渕雅之 監督

主演医師：武田以知郎 先生

出演者：浦嶋偉晃 氏

(B) フードマルシェ/アコースティカル演奏会

12:30-13:30

大東市の飲食企業やカフェの弁当・スイーツ販売

アコースティックギター・クロマチックハーモニカの演奏

(C) 理想の終末期を実現する座談会

13:30-15:00

MC：小宮悦子 氏（株式会社フリーステーション代表取締役）

登壇者：在宅医 木下竜也 先生

訪問看護師 大村佳那 氏

在宅看取り WG 高濱祐也 氏

計画時の期待する効果

1 実際の在宅医療の日常を描いたドキュメント映画を観ていただくことによって、在宅医療の実際をイメージしていただき、自分はどうしたいのかと考えていただくきっかけとする。

2 演奏者が体験された身内の看取り体験のお話を交え、懐かしくも温かい楽曲を聴きながらいただく地元の味。そうした和やかな雰囲気の中で午前中の映画やトークの内容を自分事として振り返っていただく。

3 座談会では、大東市における在宅医療の実際を 3 人の登壇者に語っていただき、明日香村だからできるのではなく、大東市は選択肢が多くあるのだから、ぜひ希望を周りの人に伝えてほしいということ、ACP の大切さについてお話しいただき意識が高まることを期待した。

結 果

(A) どんな内容だったか？集客数は？計画時の期待する効果と照らしてどうだったか？

一般来客者 150 人

主催者/出演者 8 人

演奏者 4 人

飲食出店者 16 人(内子ども 2 人)

スタッフ 8 人

合計 186 人

- ・お盆休み中であつたが、多くの方に来場いただいた。
- ・イベントは計画通り順調に開催され、盛会に終えた。
- ・来場者同士、またドクターと医療福祉事業所等演目以外での交流もあり、今後の地域連携や市民活動への足がかりとしても寄与した。

(B) 来場者アンケートの集計結果を別添します。

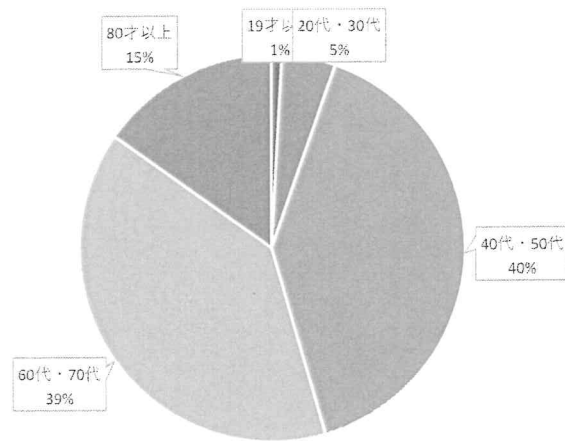
- ・アンケート回収率の多さより、来場者の関心の高さが伺える。
- ・大東市はもとより、様々な地域から情報を得て来場されたことが伺え、こうした企画の希少性、重要性が伺えた。
- ・参加者の多くは年配層であり、親の介護というよりは自身の終末期について関心があることが伺える。
- ・女性の割合が多い。介護が生活の延長線であるからか、死について男性はあまり考えたくないのか。性別によって何が異なるのか、今後探求したい。
- ・映画上映参加者が多いことから、終末期というまだまだデリケートな話題に関して映像で伝える方法が敷居が低くて参加しやすいのかもしれない。
- ・ACP については、知っていた人と初めて知った人が半々だった。元より関心のある人が参加し、更に今回話しには出なかったリビング・ウィルについても詳しく知りたいという人が多くいた。
- ・終末期について何に関心があるのかというニーズ調査もできたので、今後の企画に反映し、更に市民意識を高めたい。

・アンケートご意見・ご感想自由記述欄に多数記載いただいたことより(42名)、市民意識の高さを伺える。

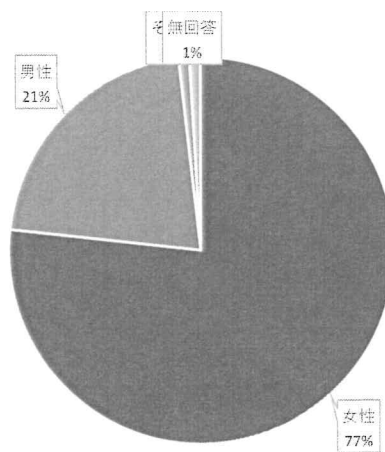
(C) 当日の記録写真を添付いたします。



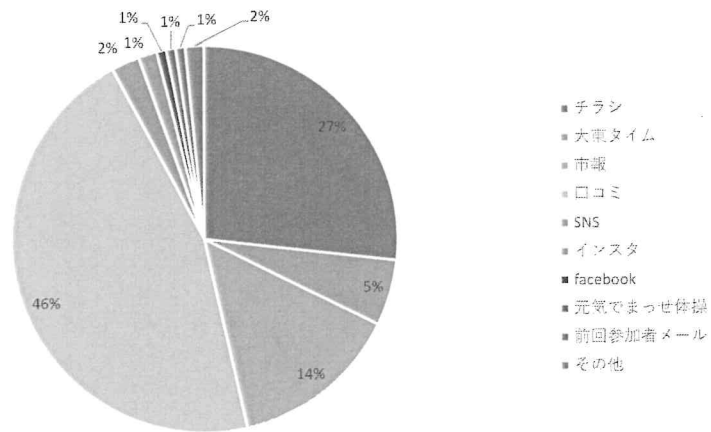
Q2.年齒(%)



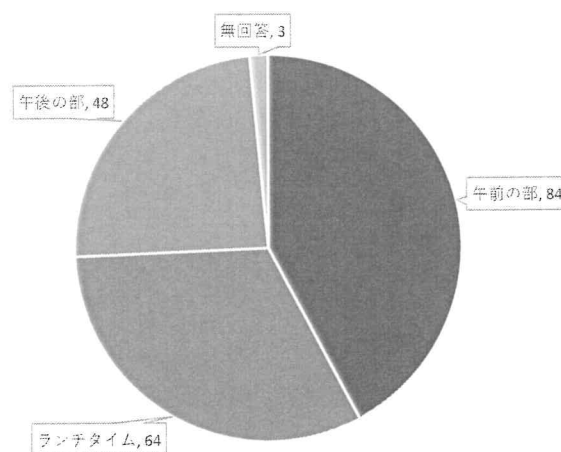
Q3.性別(%)



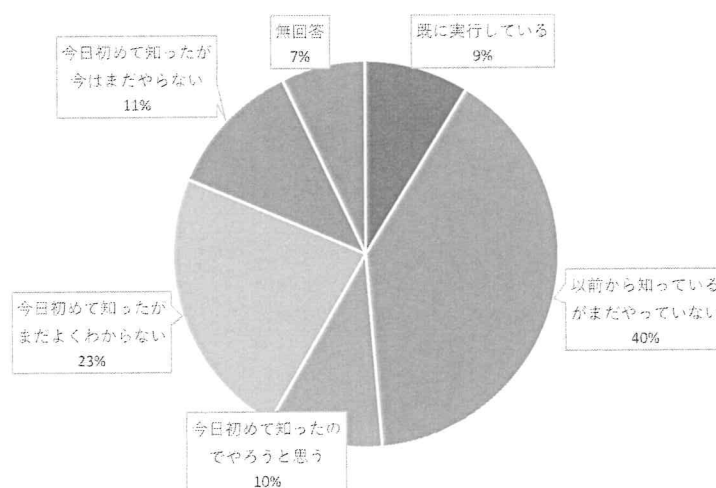
Q4. イベントを何で知ったか(%)



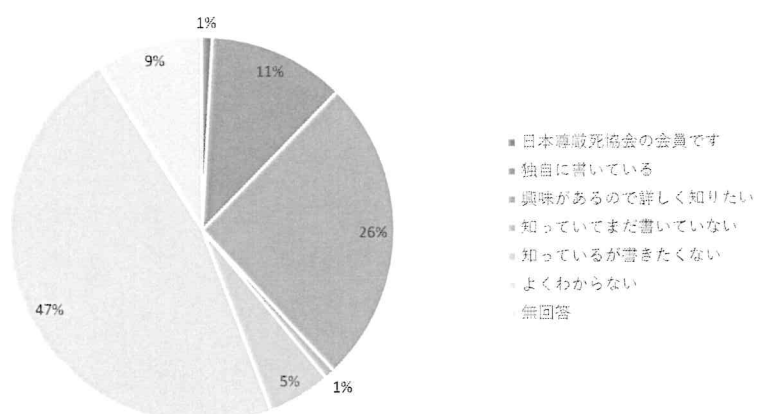
Q5. 参加した企画(回答数)



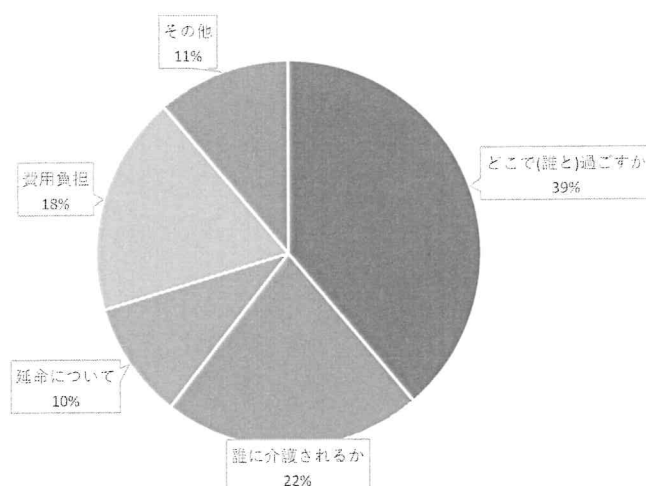
Q6.ACPについて(%)



Q7.Living-Willについて(%)



Q8.終末期で気になること(%)



Q8.終末期で気になること (その他の内容)

- 家族がいない場合は？
- 延命治療は必要ないと子どもには伝えていますが。その他のことはなかなか具体的に考えていけてません。
- 終末期に起る変化(疾患)
- 家族がいないときの終末期
- 出来るなら一人でソ〜と逝ってしまいたいと思っています。
- 葬儀の段取りやその他の段取りが気になる？
- 独身、親族なしなので最期が心配。他人に迷惑をかけず死ねたら良いと思っている。
- 一人で最期をむかえる不安
- 死ぬまで働く
- 早くに施設等に入居したいがLWを守ってもらえる施設があるのか不安
- どこからの治療、どんな状況が延命となるのか。またのぞまないとしたらそのようにしてもらえるのか？
- 自宅で訪問介護。延命はいらない。
- いつ死んでもいいと思える生き方ができているかどうか
- ひとりで静かに命をとじたいと思っていますがかなうのか
- 最期に必要な子どもたちへの伝言、家族の今後の歩み
- 独りなのでどこまで自宅で暮らせるか。出来れば長く自宅で過ごし、最期を迎えられるなら.....

ご意見・ご感想

- ・ 武田先生の実践を知ることができて良い学びになりました。(4050 女)
- ・ 氏原氏の語りと心にしみるハーモニカの音色、選曲、すばらしく心に響きました。市のホールで予約関係なしにフリーに参加できる形をとって下さったことで気持ち軽くお話聞かせていただきドキュメンタリーを見れてとても良かったです。ありがとうございました。(6070 女)
- ・ ありがとうございました。又宜しくお願いします。(4050 女)
- ・ 「日頃より周囲に思いを伝える」やろうと思います(4050 女)
- ・ 今私の周りに 89 才姑(ターミナル)、姑の姉 92 才 PTAD(肺炎)アルツハイマー、姑弟 80 才(耳が遠い)、実父 89 才がいて、在宅は出来ませんが、最後は家族にみとられれば(6070 女)
- ・ とても有意義なイベントでした。皆様ありがとうございました。又何回も開いてくださったらと思いました。(80 女)
- ・ 地域の方との対話もあって有意義な会だと思いました。地域の方達からも広まっていけば良いと思います。(4050 女)
- ・ 昨年父を在宅で看取ることができたので映画のひとつひとつのケースとても身近に感じました。ありがとうございます。(4050 男)
- ・ ケアマネジャーです。自地域で在宅看取りを推進していますが武田 Dr のような日常や生活をまるっと見られる主治の医が非常に少ないです。また死に対する知識の少ないご家族も多く不安が大きい。様々な課題はあると思いますが、微力ながら「その人らしさ」をサポートしていきたい。ありがとうございました。(4050 男)
- ・ 大変有意な時間でした。ありがとうございました。映画は本人や家族の意志を尊重し、医療や関係者の支えがあり、在宅看取りが可能だということがよく伝わってきました。ベストだと思って始めた介護でも家族はいつも心が揺れ動いていることも事実です。印象に残ったのは、終末期をどう死ぬかではなくどう生きるかでした。(6070 女)
- ・ 考えること、伝えておくことが大切であると感じました。ただ、思いをかなえるためには社会支援も制度も不十分と思います。(4050 女)
- ・ 介護をまだ使っていないので良くわからないかも。なった時はどうしたら良いか、なかなか認定されないと聞きますが。(80 女)
- ・ 家族の支える力がとても大きいと思いました。(30 女)
- ・ 生きることは死ぬこと、死ぬことは生きることだと思っています。人に迷惑はかけるだろう。潔くは死ねないだろうと覚悟しています。(6070 男)
- ・ 映画をみて病院より在宅でさいごを過ごしたいと改めて思いました。(4050 女)
- ・ 主人は突然死そのもので山歩き中に亡くなりました。娘はガン治療で最後は家で

介護をしました。その時に感じたドクターに対しての信頼が出来なかった事です。

(80 女)

・自然豊かで武田先生をはじめスタッフの方々の地域医療の温かい関わりにとっても心熱くなり涙し癒やされました。映画のような看取りをしてもらえることが理想でそのような地域医療が進んでいくことを願っています。今回の ACP について、今後考えていきたいと思います。よい機会を与えてくださりありがとうございました。

(4050 女)

・私も考えなければならぬ年になって来ましたので、とても切実に思えました。もっと真剣にまじめに取り組まなければと思いました。(6070 女)

・家族の居る方は恵まれていると思う。仕事柄、身寄りのない高齢者も多くみてくるので、こういう人達もスポットを当てて欲しい。行政の配慮は充分とはいえない。

(4050 女)

・気遣いなく咳き込まれる方がいて不安になりました。ランチタイム、マルシェはあきらめることにします。ありがとうございました。(4050 女)

・専門的な深掘りした内容ではなく、トークやマルシェ、演奏会等バラエティに富み入りやすいと思いました。(6070 男)

・考える機会をありがとうございます。(2030 女)

・参加できて良かったです。明日香村と大東との、家族を含む介護環境のちがいが大きいと思いました。ありがとうございました。(6070 女)

・人生のしめくくりを子どもたちに負担をかけることなく自立した生活ができる自分でありたい。そのため介護保険の利用。(6070 女)

・思いがけず自分の終末を考える機会となりました。少し言葉がわかりにくかったのが残念でした。(6070 女)

・明日香村のように地域医療の充実しているところで最後を迎えたい。(6070 女)

・ハーモニカが心にしみました。(4050 男)

・ACP 考えるきっかけになりました。友人にも広げるようにします。(4050 女)

・義母は胃ろうして 10 年生きたが本人は「もういいやろ?」といつもこぼしていました。自然に死に向かっていくのが一番楽だと思う。延命に意味はない。苦しさを与えてたと思った。義母に教えてもらった。(6070 女)

・在宅介護は一人ではできない。家族の人数が多いと出来るかも知れないが高齢者が一人ですんでいるというのも現実である。老老介護、孤独死、そういう部分も見ていかないといけないと思います。(4050 男)

・ありがとうございました。(6070 男)

・映画でリアルな在宅での武田先生の親しみやすさ、声かけ、しっかりと話をきく姿勢に胸を打たれました。こんな在宅医の先生と連携をとりたいです。(ケアマネ)明日香村にまた行ってみたいと思います。(4050 女)

・ありがとうございました。(4050 男)

・映画を観たいと思っていたので良かった。在宅看取り WG メンバーです。(4050

女)

・もう少し介護(在宅)に特化して映像がよかったかな？先生の話をも直接聞く講演会の方が私にはよかったです。(6070 女)

・自分の終末期についてちゃんと考え子どもたちに伝えておかななくてはいけないことを痛感しました。貴重な時間をありがとうございました。(6070 女)

・5,000 人の人口都市で医師が 2 名のみとは……。他の住民は如何にしているのでしょうか？ 檜原市内へ行くとか。開業医の存在は？(6070 男)

・在宅ケアチームの大切さを感じました。(4050 男)

・間もなく……。身近な問題で勉強させていただきました。ありがとうございました。(80 女)

・とても勉強になりました。演奏会もフードマルシェもとても良かったです。ありがとうございました。(4050 女)

・すごくいろいろ考えるきっかけになりました！(4050 女)

・ご自宅で最後をご家族に見守られて亡くなられるのとても幸いなことだと思いますが死の解決がないことがとても悲しいです。この明日香村だけでなく日本のすべての人々に真の創造主がおられ、その創造主からの唯一の救い主イエス・キリストについて知っていただきたいと思います。(6070 女)